

北海道秋の学び推進月間の取組

渡島教育局
平成29年11月21日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

「北海道教育の日」(11月1日)から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介いたしますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 函館市立あさひ小学校の取組

家庭学習の一層の充実に向けた取組

本校では、家庭学習の一層の充実に向け、11月に「学びの木」と「自主学習がんばりカード」の取組を行いました。毎日、宿題に取り組んだ児童は自分の学年の「学びの木」に、さらに、宿題とは別に自主学習に取り組んだ児童は「自主学習ノート」に、それぞれ学級担任からもらったシールを貼りました。達成感を味わわせるとともに、家庭学習の充実を図ることができました。



【学びの木の様子】

○ 市立函館高等学校の取組

アクティブ・ラーニング公開授業の開催

本校は、今年度「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」をテーマに全校で授業改善に取り組んでおります。11月9日から13日の3日間で計6教科の公開授業を行い、本校の教員以外に、助言者を含め22名の参加がありました。国語では、グループワークを取り入れた公開授業の後、「主体的・対話的で深い学び」につなげる授業について協議を行い、参加者からは、「考えを自分の言葉でまとめ、表現することが重要」等の授業改善に向けた意見が出されるなど、大きな成果が見られました。



【グループワークの様子】

○ 北海道八雲養護学校の取組

ボランティアを活用した読み聞かせ会の開催

本校では、町立図書館の協力を得て、広く様々なジャンルの本に接する読書体験の機会を広げています。また、2か月に1度「読書の時間」を設定し、11月7日には、普通学級の子どもたちは、自分の好きな本のポップを作成し、友だちに紹介しました。重複学級の子どもたちは、町の読み聞かせボランティアサークル「ぴいたあ☆ぱん」の皆さんに来校していただき、読み聞かせ会を行いました。このような活動を通して、子どもたちは日常から読書の時間を楽しみにしています。



【読み聞かせ会の様子】

「北海道学び推進月間」標語

- ☆最優秀作品(最優秀賞)☆ 市立函館高等学校2年 張 磨 謙 介 さん
「知識の木 枝を増やして 咲く未来」
☆☆優秀作品(奨励賞)☆☆ 北斗市立上磯小学校4年 須 川 芹 菜 さん
「勉強は 未来のわたしを えがいてる」
七飯町立大中山中学校3年 椎 名 里 桜 さん
「毎日の 努力がきっと 夢つかむ」
北海道松前高等学校1年 伊 川 玲 衣 さん
「勉強は なりたい自分に なる準備」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。